

「文化力の拠点」活用案

～大学コンソーシアムの拠点機能形成の観点から～

<提案の視点>

○「ふじのくに地域・大学コンソーシアム」の機能や取組を発展させるためには活動拠点が必要であるが、県内には大学が広く点在している状況を踏まえ、東・中・西部地域にそれぞれ活動拠点を整備することが望まれる。特に、中部地域には全県的な活動を支えるコンソーシアムの基幹拠点としての機能も必要となる。

○東静岡周辺には、大学、美術館、グランシップなど、教育機関や文化施設が多く集積し、また、「文化力の拠点」として、様々な交流機能の導入が検討されている。このことは、「高等教育機能の充実と地域の知の拠点化の構築」を目指そうとしている「ふじのくに地域・大学コンソーシアム」の活動を大きく促進し、県全体の文化力向上の牽引力となる。このような観点から、東静岡の「文化力の拠点」を「ふじのくに地域・大学コンソーシアム」の拠点としても位置づけたい。

<今後必要とされる主な機能>

1. ICTを活用した教育研究機能

- ・インターネット（SNS等）による授業の配信や遠隔会議を行うための拠点の設置（県内大学におけるI-learnなどの統一的手法の確立）
- ・共同授業や公開講座などの開催（特に、静岡県内の自然現象・地域環境・生活の特徴・歴史などを各分野から掘り下げ、分析した内容の講義―「富士山学」など）
- ・大学のサテライトの設置・運営（合同広報・合同相談会）
- ・大学の教育力向上のための新しい教育手法（逆転授業・アクティブラーニングなど）の共同開発（合同FD・SD研修―大学教職員の交流と自己研鑽の促進）

2. 大学と地域の連携機能

- ・地域課題の解決策を講じる機能（地域貢献推進拠点の設置―COC機能）

3. 学生や研究者等の交流機能

- ・学生ホールを設置し、異なる大学の学生間や学生と教員など、幅広い交流を促進
- ・サークル活動やゼミの活動拠点としての場を提供し、学生活動を支援

4. 留学生等の短期宿泊機能

- ・海外からの留学生や県外からの日本人学生の相互理解と幅広い人間関係の形成を図る宿泊施設の提供
- ・様々な出身国の留学生等が交流をするためのスペースの提供

<必要となる施設 まとめ>

機能	施設設備及び活動（イメージ）
1. ICTを活用した 教育研究機能	(インターネット放送局) ・インターネットによる講義の配信や遠隔会議
	(個別大学のサテライト) ・大学サテライトの常設
	(演習室、会議室) ・単位互換授業、公開講座等の実施 ・合同FD・SD研修の実施 ・コンソーシアムの理事会、企画運営委員会等の会議の開催
2. 地域連携機能	(地域連携相談室) ・地域課題の解決に向けた相談・話し合いの場の形成
3. 学生や研究者等の 交流機能	(学生ホール・カフェ・インターネット利用) ・学生交流やその他フリースペース ・インターネット利用スペース (学生共同作業室) ・サークルやゼミの打ち合わせ室 ・印刷、郵便物発送作業など学生の共同作業スペース
4. 留学生等の短期宿 泊機能	(宿泊施設) ・留学生や県外からの入学者を対象とした短期宿泊施設(寄宿舎等)の提供 (留学生等交流スペース) ・入居する留学生と日本人学生との交流の場として活用
その他	(事務局) ・コンソーシアムの事務局を設置

※今後、コンソーシアム内で各大学や学生のニーズを把握し、必要な規模を検討する。

<参考>

ふじのくに地域・大学コンソーシアム設立趣旨書の抜粋

- (1) 大学間連携による教育研究力の向上を図る（大学と大学）
- (2) 大学と地域の連携を強化し、大学の持つ知的資源を地域へ還元する（大学と地域）
- (3) 学生の自主的な参加を促し、異なる大学や地域との交流を働きかける（学生拠点）